

国鉄「分割・民営化」阻止 / 三里塚二期着工粉碎 /

現代版産業報国会を葬る

新たな動労千葉・国労破壊許す

中曽根内閣、当局、杉浦、革マル松崎の分割・民営化へ向けた動労千葉、国労破壊が破綻する中で、動労、鉄労などのマル生組合は、二月二日に「鉄道労連」なる右翼御用組合を結成し、中曽根の戦争への道を掃き清めようとしている。今こそ、動労総連合の旗の下に結集し、中曽根、杉浦、松崎の反動攻撃をはねのけ、分割・民営化絶対阻止派の形成に全力で突き進もう。

危機を深める動労と鉄労

動労・鉄労など改革労協は、二月二日に各労組本部段階における「鉄道労連」の結成を行うと十二日発表した。新たな国鉄労働運動解体攻撃の始まりである。しかし、この「鉄道労連」結成はなんら「順風満帆」といったものではない。特に、鉄労は、十月まで待って一企業一組合を作ろうというのに対して、動労革マル松崎は、四月になんとか作りあげたいと悲鳴をあげている。

鉄道労連は産業報国会そのもの

それでは、ここまでして結成しようとする「鉄道労連」とはいかなる内容を持つているのであろうか。昨年十一月出された「進める会」の趣旨書では、①理念・運動は「第二労使共同宣言」に象徴される、とある。これは一般的な労使関係をこえ、新組合はストをしないと宣言したものであり、国や会社のために一切を捧げようという現代版産業報国会である。②健全な労使関係の確立・経営基盤の安定と新事業体の活性化をうたっている。このことは、会社の利益が第一であり、労働者の権利や利益は一切認めず、そのためにはストもやらないといっているのである。③労働組合におけるイデオロギ

ーからくる対立・分裂や政党の介入・干渉を許さず・・・とある。なんたる破廉恥な連中であらうか。自分達が最もイデ

オロギー的なるまい、政府・自民党と結託してはいかないか。④民主主義・自由・平等・公正・平和と書かれているが、これはいつも中曽根が口走る言葉であり、労働者がよくたぶらかされる言葉でもある。⑤全民労協に参加すると公言している。労働運動の右翼的統一に積極的に寄与するということである。⑥左右の全体主義を排除する。これこそ「鉄道労連」の神髄であり、特に「東日本進める会」の趣旨書には「共産主義と対決する」となっており、完全に自民党、財界の先兵として労働者人民に襲いかかり、中曽根の進める「戦後政治の総決算」戦争への道を率先して掃き清めようとするものである。

今こそ闘う動労総連合の下へ

このような中曽根、杉浦、松崎連合の反動攻撃にうちかつ唯一の道は、動労総連合に結集し、全国の闘う仲間と共に中曽根内閣と対決し、分割・民営化を内部から粉碎する闘いに立ちあがることだ。今こそ、労働者として団結を打ち固め、勝利の展望を持ち前進しよう。

協販部からのお願い

協販部は、一月末日まで県内を中心に第二次オルグを実施してきました。成果も着実に上っていますが、これからが正念場です。したがって、二月も引き続き運動を継続すると共に、組合員の更なる奮闘を心より訴えるものです。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！